

コミュニティ防災の現場からみる地区防災計画制度の可能性と課題

開催趣旨

「地区防災計画制度」は、平成25年災害対策基本法の改正により創設されました。制度として位置づける意義、市民として、行政として、上手な使いこなし方について、コミュニティ防災を実践する研究者を招いて議論します。地域コミュニティの防災活動にかかわる自治体危機管理・防災担当者、コンサルタント、NPOの皆さんのご来場をお待ちしています。

- 開催日時:2016年9月6日(火) 14:00~17:00
- 場所:東京大学生産技術研究所S棟ホール(東京都目黒区駒場4-6-1 裏面参照)
- 主催:東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室, 地区防災計画学会, 情報通信学会災害情報法研究会
- 共催:東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター, 公益財団法人東京都都市づくり公社
- 後援:公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団, 一般財団法人関西情報センター
- 参加費:無料

◆◆◆プログラム◆◆◆

1. 基調講演(30分): 加藤孝明:東京大学生産技術研究所准教授
「地区防災計画のジレンマ~住民の立場から VS 地域防災計画策定の立場から」
2. 話題提供(80分)
 - (1) 内閣府(普及啓発担当)(15分)
「地区防災計画制度の普及の現状~特に地域防災計画での位置づけ方に焦点をあてて~」
 - (2) 吉川忠寛: 防災都市計画研究所代表取締役(30分)
「地区防災計画策定実務からみた地区防災計画制度~足立区・大槌町での策定事例を通して~」(仮題)
 - (3) 石川永子: 横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース准教授(15分)
「地域防災支援活動・大学教育からみた地区防災計画制度~横浜市での活動を通して~」
 - (4) 伊村則子: 武蔵野大学工学部建築デザイン学科教授(10分)
「地域での防災啓発支援の実践からみた地区防災計画制度 ~西東京市の事例を通して~」
 - (5) 三浦伸也: 防災科学技術研究所・社会防災システム研究部門 主幹研究員(10分)
「文部科学省地域防災対策支援プロジェクトを通して考える地区防災計画制度の可能性と課題」
3. パネルディスカッション(50分).....会場参加型で行います。
コーディネーター: 加藤孝明+西澤雅道(福岡大学法学部准教授)
パネリスト: 話題提供者
まとめ: 鍵屋一(跡見女子学園大学観光コミュニティ学部教授)

総合司会

筒井智士(地区防災計画学会事務局長) / ヤスミン・バタチャリヤ(東京大学生産技術研究所加藤研・特任研究員)

【申し込み】参加御希望の方は2016年9月4日(日)までに地区防災計画学会HPからお申し込みください。

<http://gakkai.chiku-bousai.jp/ev160906.html>

申し込みに関する連絡先: 地区防災計画学会 06-6346-2981, E-mail: info@gakkai.chiku-bousai.jp

【問い合わせ先】担当: 小田切(東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室) otagiri@iis.u-tokyo.ac.jp

東京大学駒場リサーチキャンパス案内図

小田急線／東京メトロ千代田線
 東北沢駅（小田急線各停のみ）より徒歩8分
 代々木上原駅より徒歩12分

京王井の頭線（いずれも各停のみ）
 駒場東大前駅より徒歩10分
 池ノ上駅より徒歩10分



生産技術研究所 S棟案内図

